

## 平成21年度 拠点整備部の取組方針結果報告

### 1 職員の意識改革

#### ○「目標設定・目標管理の徹底」

##### (取組結果およびその評価)

各課の課題を部の課題として、月1回の所内会議で検討するとともに、各課で行う月例報告会での課題検討や現状報告を通して各業務の進捗状況に応じた目標設定や検証を行うことで、職員各自の目標把握の徹底を図りました。

##### (今後の方針)

引き続き、それぞれの会議を通して職員各自の目標設定や目標管理の徹底を図ることで、意識改革を進めます。

### 2 業務点検(コンプライアンスの確保を含む)

#### ○相互チェック体制の徹底

##### (取組結果およびその評価)

所内会議や各課報告会を通して部及び課内の情報や課題を共有化するとともに、常に各職員が上席者に業務の現状報告を行うことで、職員間でのチェック確認機能(コンプライアンスの確保を含む)を高めました。

##### (今後の方針)

引き続き、部及び課内の情報や課題を共有することと業務の現状報告の遂行で、相互チェック体制の徹底を図ります。

### 3 市民からの信頼回復

#### ○市民と行政の信頼関係の構築

##### (取組結果およびその評価)

事業計画などを関係権利者や周辺住民等にきめ細かく丁寧に説明し、意見の把握に努めるとともに、いただいた意見やそれに対する考え方をしっかりと説明することで、行政への信頼獲得を図りました。

- ・ 大船駅東口市街地再開発事業は、10月に3回説明会を行うとともに、関係権利者との個別面談を平成21年度末までに延べ177回行いました。
- ・ 大船駅西口整備事業は、工事開始にともない地元自治会や企業、学校に延べ19回の説明会を行いました。
- ・ 鎌倉駅西口周辺整備事業は、今年度1回の建物共同化事業準備会を行うとともに、関係権利者との個別面談を平成22年3月末までに延べ30回行いました。
- ・ 深沢地域国鉄跡地周辺整備事業は、今年度3回の全体会を行うとともに、関係権利者との個別面談を平成22年3月までに延べ77回行いました。

(今後の方針)

引き続き、各計画事業に係る関係者等との面談や説明会等を通して、各事業に対する意見や要望等の把握を行いながら、事業推進に努めます。

#### 4 子どもが元気に育つまち

○事業計画への反映(基本目標の推進)

(取組結果およびその評価)

子どもたちが、安全で快適に大船駅西口を通行できるように、歩車分離を目的とした大船駅西口ペDESTリアンデッキ等整備工事を進めました。

また、大船駅東口駅前のバリアフリー化に向け、エレベーター等設置のための現況調査、基本調査、基本設計を行いました。

(今後の方針)

引き続き、鎌倉市次世代育成きらきらプランの基本目標である「子どもと子育てにやさしい街づくり」を念頭に事業計画の推進を図ります。

#### 5 高齢社会への対応方針

○(取組方針)

(取組結果およびその評価)

高齢者が、安心してすごせる快適な街づくりを目指し、歩車分離を目的とした大船駅西口ペDESTリアンデッキ等整備工事を進めました。

また、大船駅東口駅前のバリアフリー化に向け、エレベーター等設置のための現況調査、基本調査、基本設計を行いました。

(今後の方針)

引き続き、公共施設等のバリアフリー化を基調としたユニバーサルデザインの促進を図ります。

#### 6 重要な取組事項

○大船駅東口第2地区第一種市街地再開発事業

(取組結果およびその評価)

・権利者の方々に再開発事業に対する理解をより深めていただくため、再開発事業を体系的に説明した「再開発読本」を作成し、個別に説明を行いました。

・権利者の方々の意見収集用に作成した「たたき台となるプラン」と、これに基づいた「建物模型」を持参して個別に説明を行い、「複数の基本プラン」作成のための様々な意見をいただきました。その後、それらを集約して、報告会や個別面談等により権利者の方々へ周知しました。

・「たたき台となるプラン」についての意見や要望等をもとに複数の「基本プラン」を作成し、全体説明会や個別面談を通して、各プラン及びプランごとの「権利変換モデル」を説明する中で、あらためて権利者の方々の意見等の把握及びとりまとめを行いました。

(今後の方針)

・複数の「基本プラン」に対して権利者の方々からいただいた意見等を踏まえ、基本計画の作成方針をとりまとめます。その後、権利者の方々との意見交換、関係機関や専門家の意見も踏まえ、基本計画の素案を作成し、あらためて権利者の方々の意向確認を行いながら、基本計画の策定を行います。

#### ○大船駅西口整備事業

(取組結果およびその評価)

大船駅西口の「歩行者と車両の分離による安全性と快適性の確保」「バス停の集約化」「駅前の渋滞解消」を図るため、平成 19 年度に策定した「大船駅西口整備計画(鎌倉市域での整備計画)」に基づき、駅前乗降場・歩行者デッキ等の整備工事を進めました。

また、公共広場等整備工事については、工事発注及び入札を行い、平成 22 年 3 月 10 日に工事請負契約を締結しました。

(今後の方針)

引き続き、駅前乗降場・歩行者デッキ等の整備工事を進めます。

また、公共広場等についても同時期の完成を目指し整備工事を進めます。

#### ○大船駅周辺整備事業

(取組結果およびその評価)

大船駅東口のバリアフリー化に向け、エレベーター等を整備するため、関係機関等との調整を進めるとともに、基本調査・測量等を行い、基本設計をまとめました。

(今後の方針)

引き続き、関係機関等との調整を進めるとともに、詳細設計等を行います。

#### ○鎌倉駅周辺地区整備事業

(取組結果およびその評価)

《西口駅前広場整備事業》

・権利者との合意形成に向け、個別面談や鎌倉駅西口駅前共同化事業準備会を実施した結果、事業に協力できない旨の意向を示していた権利者から、条件付きながら整備計画案について理解が得られたため、建物共同化事業と駅前広場整備事業の一体整備に向けた検討を進めていくこととしました。

《市役所前交差点改良事業》

・市役所前交差点の改良にあたり、関係権利者や庁内関係課と協議・調整を行いました。が、整備方針の決定には至りませんでした。

(今後の方針)

《西口駅前広場整備事業》

・引き続き個別面談や鎌倉駅西口駅前共同化事業準備会において、権利者から出されている個別条件の整理や、関係権利者等の意向を確認し、建物共同化事業と広場整備事業の推進に向け、具体的な手続きを進めていきます。

《市役所前交差点改良事業》

・現在進められている都市計画道路の見直し作業や、庁内関係課との協議・調整を踏まえ、整備方針の決定に向けて検討を進めていきます。

○深沢地域国鉄跡地周辺整備事業

(取組結果およびその評価)

《権利者対応》

面整備ゾーン内の権利者で構成する「深沢地区まちづくり検討部会全体会」(以下「全体会」という。)の第6回と第7回を4月19日と7月12日に開催し、面整備ゾーンの土地利用検討状況等について報告し意見交換等を行いました。

また、9月から11月にかけて面整備ゾーン内西側権利者75名のうち74名を対象に、今後の土地の利用の要望等を確認するために個別訪問を実施しました。

これを受け、12月6日に第8回全体会を開催し調査結果を報告し意見交換を行いました。

《深沢地区事業推進協議会等》

4月23日に開催した「第7回深沢地区事業推進協議会」(以下「協議会」という。)において、「深沢地域の新しいまちづくりビジョン」を取りまとめ、6月4日に協議会から市へ提言を受けました。

この提言を踏まえ、第4回、第5回「深沢地区事業推進専門委員会」(以下「専門委員会」という。)を6月30日、8月27日に開催し、事業化の視点から土地利用検討の基本となる都市基盤(道路、公園等)について検討を行いました。第5回専門委員会において、JR大船工場跡地の土壌汚染調査結果から自社活用について検討したい旨の意向が示されたため、検討結果を踏まえた土地利用検討を行うために、専門委員会の開催を延期しました。

その後、平成22年1月にJR東日本(株)よりJR大船工場跡地の土壌汚染分析調査結果を踏まえ、土地利用については慎重に検討を進めたいとの意向が報告されたことから、今後は、本市とJRとでJR大船工場跡地の土壌汚染対策を見据えた土地利用の検討を行うこととなり、3月24日に第6回専門委員会を開催し、土地利用計画(案)を2案提案し検討を行いました。

《湘南地区整備連絡協議会》

「湘南地区整備連絡協議会」(以下「連絡協議会」という。)において、藤沢市村岡地区、鎌倉市深沢地区で進められているまちづくりの検討状況を踏まえながら、両市で進められているまちづくりについて調整・検討を行いました。

また、平成20年度に実施した「村岡・深沢地区拠点づくり検討調査」結果を踏まえ、広

域交通部会を中心に、広域的な観点からの新駅設置と交通インフラ整備の検討として、次のとおり実施しました。

①新駅設置の具体化に向けた調整・検討として、「新駅設置先進事例の現地視察(さいたま市(西大宮駅)等)」や「新駅設置促進期成同盟会に係る事例研究」、②新駅利用を促進する交通施策の検討として、「バス事業者等へのヒアリング(江ノ電バス、京急バス、神奈中バス、及び湘南モノレール)」を実施しました。

(今後の方針)

面整備ゾーンの土地利用計画(案)の策定については、本市とJRとで、土地利用の検討を進めながら、専門委員会において検討していくこととなったことから、早急にJRと検討体制も含め協議・調整を図ります。

また、「連絡協議会」では、両市の「まちづくり計画」や平成20年度に実施した「村岡・深沢地区拠点づくり検討調査結果」、平成21年度実施した「新駅設置先進事例調査」及び「新駅利用を促進する交通施策の検討」等から、①駅前広場等のコンセプトの検討、②新駅の規模等の検討(新駅事業費の目安等)、③交通インフラ整備の検討等を進め、新駅に対する本市の方向性について、市民や議会等とも相談しながら整理・検討を進めていきます。